

第2期 上山型 温泉クアオルト ビジョン



令和6(2024)年 上山市

はじめに

本市は、四方を蔵王山麓や里山に囲まれ、そこから流れる豊富な水と昼夜の温度差を活かした水稲と果樹栽培が盛んな土地です。大切に受け継がれてきた温泉に加え、四季ごとに移ろう田園と里山の色彩、これらを守り育んできた人々など、彩りあふれる地域の大切な資源を、これからも次世代に引き継いでいかなければなりません。

本市では、これらの地域資源を活用し、平成 20 年度より滞在型の新たな健康保養地を目指し、全国に先駆けて官民一体となった、「上山型温泉クアオルト」を市政の重要施策に位置付け、総合的なまちづくりを推進してきました。

事業開始から、クアオルト健康ウォーキングをはじめとする市民の健康増進分野に参加されている多くの方々や、コース整備などを支援してくださる市内企業や団体のほか、本市の取組をご理解いただき、社員の送客をはじめ物心両面で支援くださる協定企業など、多方面からのご協力により、時代に先駆けた取組を大きく成長させていただきましたことに、心より感謝申し上げます。

本ビジョンは、「“心と体がうるおうまち”づくり」を基本理念とし、平成 25 年度に策定した「上山型温泉クアオルト構想」を踏襲しながら、本市ならではの豊かな地域資源に基づく多様な生活、交流のスタイルの実践を通じて、「健康の促進」、「交流の発展」、「環境の保全・活用」を具現化し、まちづくりとしての「上山型クアオルト」の魅力を地域内外に広め根付くことを目指すものとし、この度、「第 2 期上山型温泉クアオルトビジョン」を策定しました。

結びになりますが、本ビジョンの策定にあたり、貴重なご意見やご提案をいただきました関係者の皆様に心よりお礼申し上げますとともに、引き続き、皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和 6 (2024) 年 3 月

上市市長 山本幸靖

目次

はじめに

1 第2期上山型温泉クアオルトビジョンの基本理念と目標 01

基本理念	03
クアオルトビジョンの目標像	05
クアオルトビジョンの3つの柱	07

2 上山市のクアオルト構成要素 = 地域資源とストック 09

上山市の恵まれた地域資源	11
これまでのクアオルトの取組によるストック	17

3 第2期上山型温泉クアオルトビジョンの方向性 21

これまでのクアオルトの取組に対する市民の関心	23
クアオルトビジョンの方向性	25

参考資料 27

これまでの上山型温泉クアオルトの取組	29
ドイツのクアオルト	33
日本クアオルト協議会と日本型クアオルト指標	35

第2期上山型温泉クアオルトビジョン

クアオルトとは、ドイツ語で健康保養地、療養地を意味します。上山市では、平成20（2008）年度から、市民の健康増進、交流・関係人口の拡大による地域活性化を目的に、健康・観光・環境の3つの柱の下、官民一体となり、自然環境と気候、温泉、食などの恵まれた地域資源を活かしながら取り組んできました。

クアオルトでの運動療法の1つが、自然の様々な気候要素を身体に作用させることでの健康増進、気候性地形療法^{※1}です。

上山型温泉クアオルトでは、特にこの気候性地形療法に基づくウォーキング（クアオルト健康ウォーキング）を入口に、コースの整備と毎日ウォーキング、ヘルスツーリズムや健康経営のコンテンツとして活用しています。

第2期上山型温泉クアオルトビジョンでは、あらゆる立場・年代の人々が、上山の美しい・恵まれた環境の中で、体を動かし、地域の文化や食を楽しみ、交流することで健康を増進させていくこと、風景を守り育てること、環境に優しいまちづくりを通じて、地域資源が磨き上げられていくこと、これらが相乗的に作用し織りなされる健康保養地としての風景が、人々の心の拠り所となっていく、といった姿を目指します。

※1 気候性地形療法は、ドイツのミュンヘン大学アンゲラ・シュー教授が見出した治療法で、クアオルトでは、心筋梗塞や狭心症のリハビリテーション、高血圧、骨粗しょう症等の治療に利用される、自然を活用する運動療法です。



基本理念と目標

基本理念

質の高い健康保養地として地域資源を磨きながら、 ひとびとの“心と体がうるおうまち”をつくる

明治初期に横浜から函館までを旅したイギリス人の女性旅行家イザベラ・バードは、「清潔で空気がからりとしたところ」であり、「美しい宿屋が高いところにあり、楽しい家々には庭園があり、丘を越える散歩道がたくさんある」など上山の自然や風土に触れ、景色を味わいながら各方面へと散策ができる「健康的な保養地になるであろう」と「日本奥地紀行」に称賛の声を残しています。

健康とは、「病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあること」＝「心と体がうるおう」ことです。人々が健康になるためには、個人の責務としての健康づくりだけでなく、健康づくりができる・健康でいられる環境からすべての世代において健康な状態であることに対する機運の醸成など社会環境の質の充実が不可欠です。

上市市において、心と体のうるおいにつながる要素を挙げていくと、イザベラ・バードも言及した、湧き出る歴史深き温泉、蔵王連峰の裾野に広がる盆地特有の四季折々の彩りと香りを醸し出す田園風景、そこで育まれた祭りなどの伝統文化、多品種・高品質な果物や伝統野菜、ワイン醸造などの食文化、城下町、宿場町、温泉町の古き良き姿を残す歴史的なまち並みなど、人々が大切に紡ぎ育んできた地域資源と重なります。また、これらを後世に守り伝える人々や、訪れる人を温かく迎え入れる人々の心も、“心と体がうるおう”ための大切な要素です。

上山型のクアオルトは、これらの恵まれた地域の資源を尊重し、そして磨き、掛け合わせ、価値を高め、継承しながら、住む人や訪れるすべての人々に、「自然の恩恵」、「癒し」、「笑顔」をもたらす“心と体がうるおうまち”をつくっていきます。

そして、その主役は、市民の皆さん一人ひとりです。

上市市では、「健康」、「交流」、「環境」の三本柱の下、50年、100年先の未来の世代に誇りを持って引き継いでいけるよう、上山に住む人、訪れるすべての人々にとって、いつまでもいきいきと過ごし、笑顔あふれる“心と体がうるおうまち”を創っていきます。



上山型温泉クアオルト事業は
長い眼で見たまちづくり施策

上山市は、平成20年度から、自然環境や温泉、食文化の恵まれた地
域資源を活かして、市民の健康増進、交流人口の拡大による地域
活性化を目的に、健康・交流・環境の3つの柱の下、全世代にわたる
健康・交流・環境のまちづくりを推進しています。
※クアオルトとは、ドイツ語で「健康増進・交流・環境」のことです。

クアオルトビジョンの目標像

第2期上山型温泉クアオルトビジョンの位置付け・期間

第2期上山型温泉クアオルトビジョンは、第8次上市市振興計画を上位計画とした個別計画です。ビジョンの期間は、第8次上市市振興計画と同じく令和6（2024）年度から令和13（2031）年度までの8年間とします。

クアオルトビジョンの目標像：心と体がうるおうまち

あらゆる立場・年代の人々が、上山の美しい・恵まれた環境の中で、体を動かし、地域の文化や食を楽しみ、交流することで健康を増進させていくこと、風景を守り育てること、環境に優しいまちづくりを通じて、地域資源が磨き上げられていくこと、これらが相乗的に作用し織りなされる健康保養地としての風景が、人々の心の拠り所となっていく、といった姿を目指します。

市民の姿

子どもたちが、体を使った運動・遊びを通じて、多様な学びを得、地域への愛着を育んでいる。

中高生や青年層が、地域資源を活かしながらいきいきと自己実現の活動や地域づくりに取り組み、交流の幅を広げている。

働き盛りの世代の日常的な過ごし方が、無意識に健康づくりにつながっている。

高齢者が楽しみながら健康づくり、コミュニティ活動に取り組んでいる。

市民が、まちの様々な公園・広場で、食や音楽に集まり、交流を楽しんでいる。

来訪者（交流・関係人口）の姿

全国からの観光客が、美しい田園風景と静かな環境でゆっくりとした時間を過ごしながらか、地域の食を楽しむために訪れる。

外国人観光客が、体験型のプログラムを利用し、上山ならではの日本の食文化・温泉文化を楽しむために訪れる。

世界を目指すアスリートが、気候・地形を活かしたトレーニングを行うために集まってくる。

企業が、ウェルビーイング、マインドフルネスの実践の場として定期的に利用している。

まちの姿

城下町・温泉町の歴史や文化、個性的な店舗を楽しみに地域内外から多くの人々が訪れ、まちを歩き、温泉に入り、交流することで心と体が癒されている。

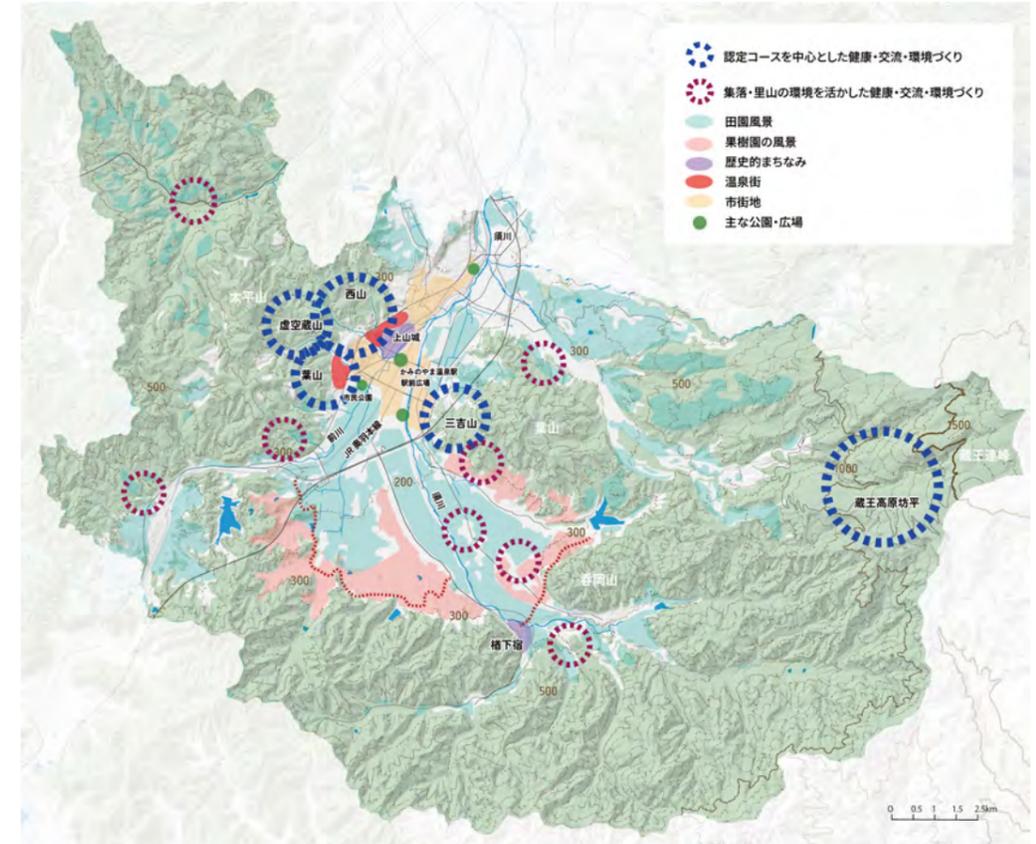
山裾の集落と田畑、森では、クアオルト健康ウォーキングや余暇活動により、コミュニケーションが生まれ、環境としての持続にもつながっている。

蔵王高原坊平が、国際レベルからアマチュアまで幅広いアスリートのトレーニング、健康経営に取り組む企業、家族連れからテレワークで働く首都圏居住者など、多様な人で賑わっている。

駅周辺の広場が、市民や交流・関係人口のクアオルトの入口となり、公園や川沿いの道のネットワークが日常的な健康づくりの場となっている。

盆地に広がる水田や果樹園の豊かな実りとワイナリー、風景を楽しみに訪れる観光客が上山の田園風景となっている。

まちの姿



市民、来訪者（交流・関係人口）の姿



クアオルトビジョンの3つの柱

地域の地形、植生、歴史、人と自然との関わりにより育まれた「環境」の中で、人々の心と体がうるおう「健康」が増進し、「交流」の活動が展開される。これが、上山型温泉クアオルトの基本的な構造となります。

第2期上山型温泉クアオルトビジョンでは、この「環境」「健康」「交流」を3つを柱としながら、質の高い“心と体がうるおうまち”づくりを進めています。

環境

上山ならではの環境を保全・育成し、“心と体がうるおうまち”としての美しい風景づくりを推進する

自然豊かな環境とその環境に育まれる美しい景観を保全・育成することで、歴史ある温泉城下町、高原リゾートとしての魅力を高め、また、地球温暖化対策や循環型社会の推進を通じて、持続性のある美しい“心と体がうるおうまち”の風景を構築していきます。

健康

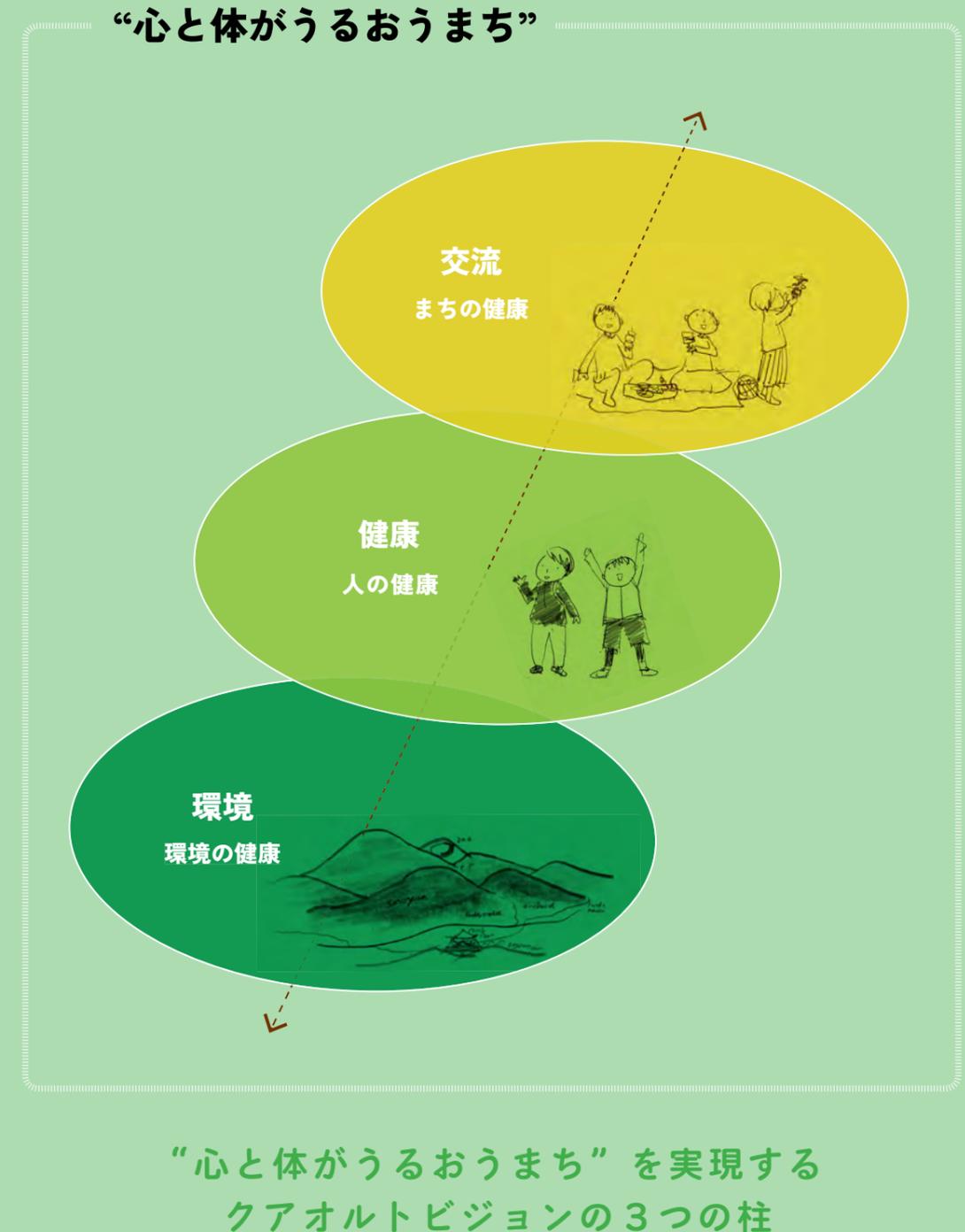
地域資源を活用し、あらゆる立場・年代の人々が「心」と「体」の健康増進が図られるような施策を推進する

地域医療と連携しながら、クアオルト健康ウォーキングをはじめ、自然や温泉などを活用した上山らしい健康づくりを推進し、市民の健康寿命の延伸を目指すとともに、“心と体がうるおうまち”づくりの醸成を図ります。

交流

質の高い健康保養地として、上山ならではの“心と体がうるおう”体験を充実し、交流・関係人口を拡大する

自然や温泉、食などの上山ならではの地域資源を磨きながら、体験ができる環境を整えるとともに、“心と体がうるおうまち”に係る積極的なプロモーションを展開します。





2

上山市のクアオルト
構成要素
＝ 地域資源とストック

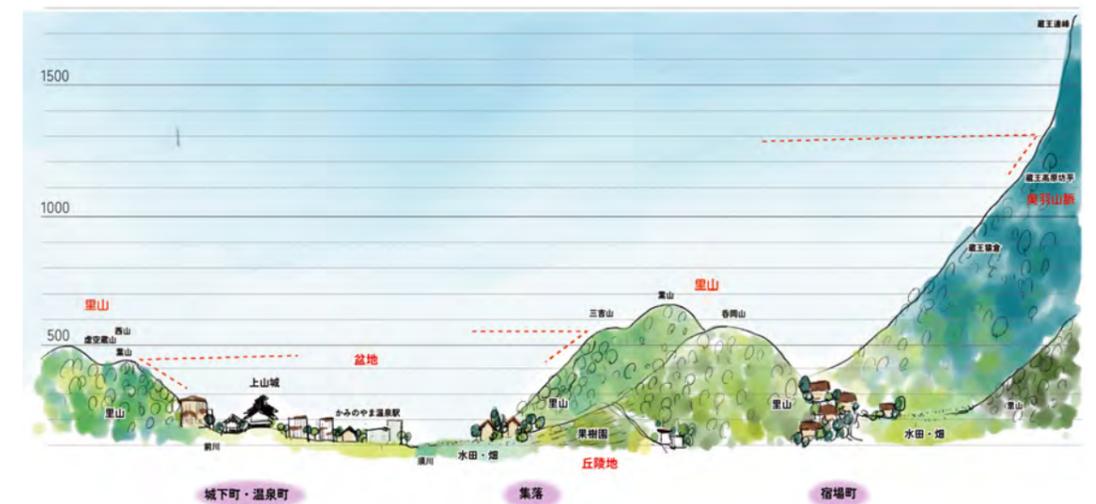
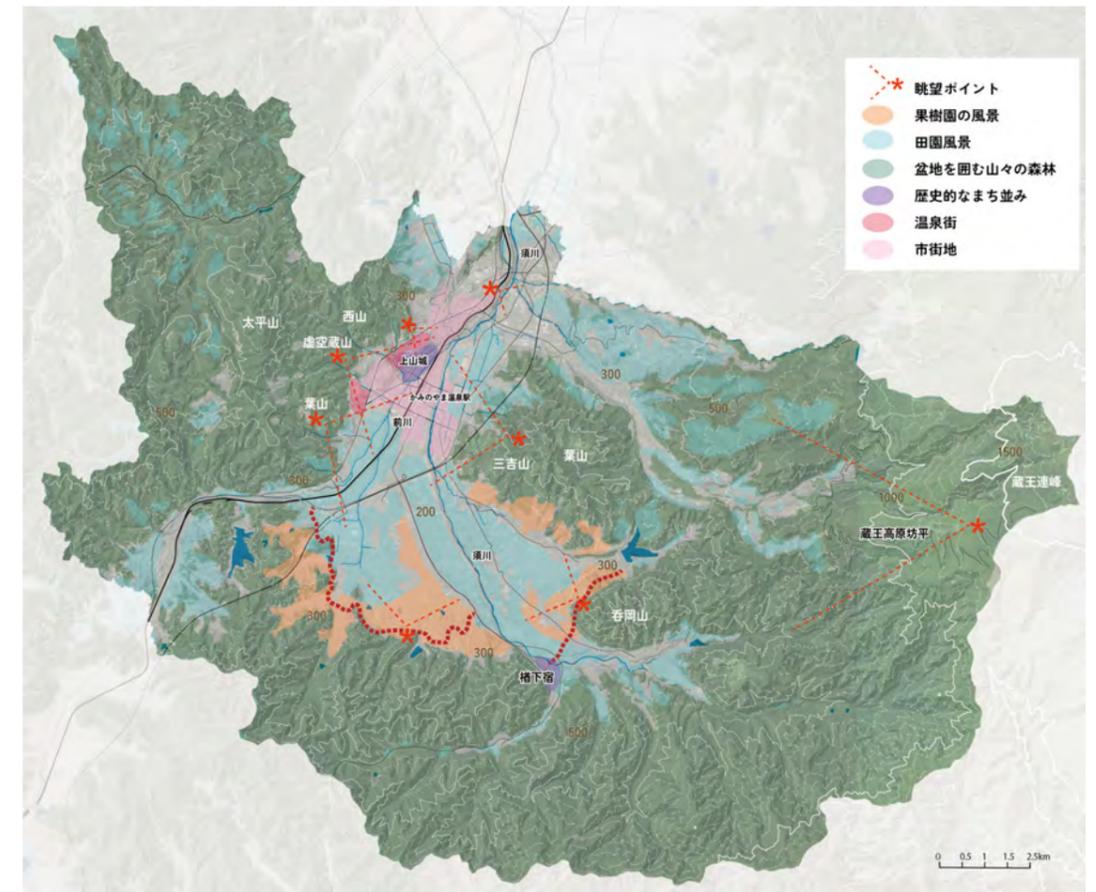
上山市の恵まれた地域資源

イギリス人の女性旅行家イザベラ・バードも称賛した上山の自然や風土、人々が大切に紡ぎ育んできた地域資源を、“心と体のうるおい”をサポートするクアオルトの構成要素として整理しました。

恵まれた気候と好ましい景観

健康保養地としての上山の地域資源のベースとなるのが、蔵王連峰の裾野に広がる盆地特有の地形と自然環境、それぞれの地形の特性に沿った土地の利用により形成される美しい森林・田園風景です。また、四季がはっきりしており、蔵王高原坊平の樹氷や紅葉などそれぞれの季節の景色を楽しむことができます。また、その地形や恵まれた気候により、気候性地形療法に必要な高度差、傾斜度、日射という条件を満たすことが可能となっています。

- ・平地に広がる田園風景
- ・なだらかな斜面に広がる果樹園の風景
- ・集落に隣接する里山と眺望
- ・盆地を囲む山々に広がる森林
- ・蔵王高原坊平、猿倉
- ・河川（前川・須川等）



上山の地形と景観

湧き出る歴史深き温泉とまち並み

1458年に開湯されたという伝承が残り、奥羽三楽郷のひとつにも数えられるかみのやま温泉は、古来より天然資源を活かした温泉町として多くの旅人たちに親しまれてきました。旅館をはじめ、まちなかの公衆浴場や足湯で、そのやさしい泉質のお湯を気軽に楽しむこともできます。この天然資源としての温泉の存在と、温泉町としての歴史や文化は、“心と体がうるおうまち”としてのクアオルトビジョンの中核といえます。羽州街道沿いの宿場町、上山藩の城下町としての歴史やまち並み、文化もクアオルトの大切な要素です。

また、上山にはかつての山岳信仰や修験道など歴史ある古道や希少な自然環境など、文化的に特徴的な道が数多く存在しています。それらは次の世代に人と自然のあり方を含めてクアオルトの考え方を伝えるとともに、自然や文化の価値を学ぶ機会を提供することを可能とします。

- ・温泉：公衆浴場、温泉旅館の内湯、街角の足湯
- ・上山城と城下町・宿場町・温泉町のまち並み



豊かな農産物と食

上山では、その恵まれた地形と気候により、さくらんぼ、ブドウ、西洋梨、柿など多様な果物、米など品質の高い農作物が生産されています。寒暖差が大きい上山のさくらんぼは大粒で美味しく、西洋梨は「平棚仕立・無袋栽培」にこだわり、干し柿となる紅柿は上山が原産です。上山産のぶどうを使用したワインは国内外で高い評価があり、近年では新たなワイナリーも生まれています。

沢庵和尚から伝えられた沢庵漬をはじめとする漬物や、冬に備えた保存食など数々の郷土食、こんにやくなども含め、これらの農産物や食文化は、心と体をうるおうおすクアオルトの大切な要素です。

- ・農作物（四季折々の果物、伝統野菜、観光果樹園）
- ・上山ワイン（ワイナリー）
- ・郷土料理
- ・クアオルト弁当
- ・クアオルトかみのやま会席、クアオルトこんにやく会席箱膳



にぎわいと文化芸術

にぎわいと文化芸術は、心と体がうるおう上で必要なクアオルトの大切な要素です。

加勢鳥、上山藩鼓笛楽などの伝統行事、東北最大のワインイベントや音楽イベントなどには、地域内外の多くの人が集います。

まちなかの公園、空き家・空き地では、新しい魅力的な店舗が出店され、マルシェや屋外コンサートが開催されるなど、人々の出会いや交流の場となるような、遊び心のあるアクティビティが展開される場となっています。

- ・音楽祭
- ・文化芸術祭
- ・ワインイベント
- ・小さな魅力的な店舗
- ・伝統行事



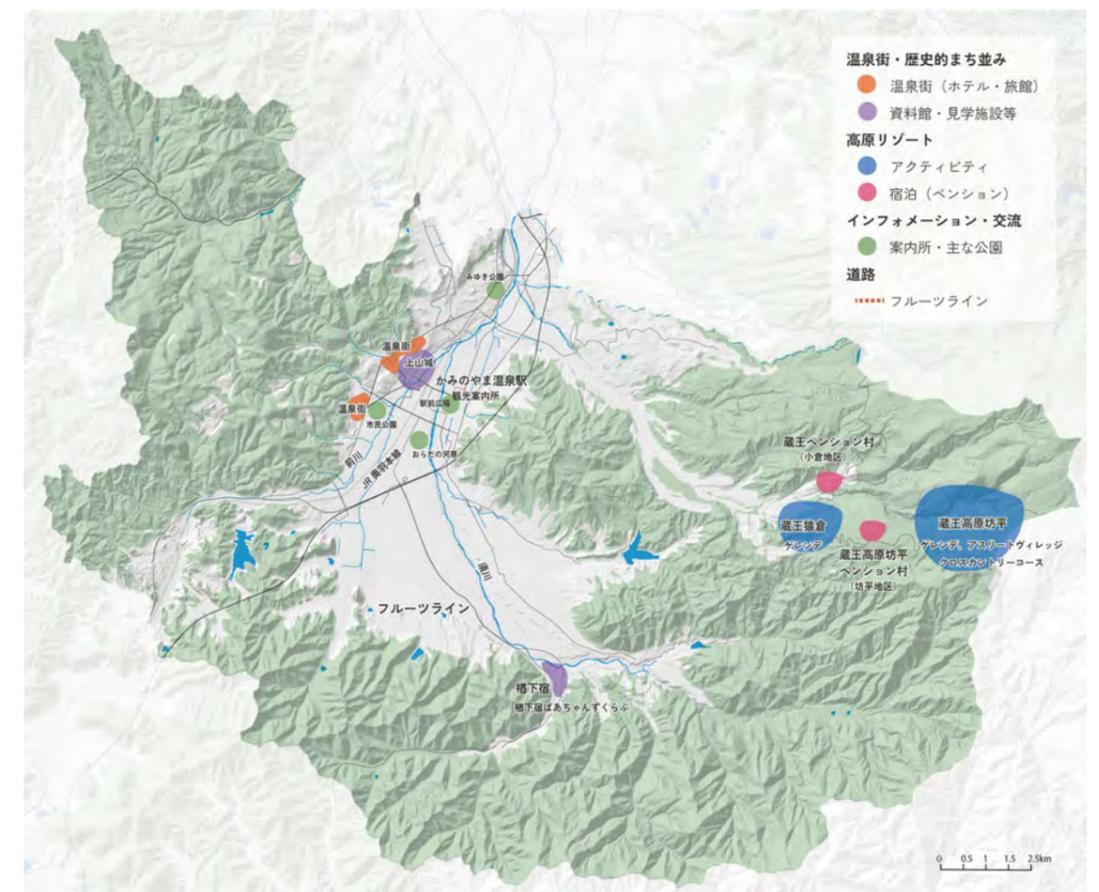
観光インフラ（施設）

かみのやま温泉では、温泉街の旅館やホテル、高原リゾートとしてのゲレンデやペンション、田園風景を楽しむことができる道路（フルーツライン）といった観光地としての施設に加え、平成30（2018）年度にオープンしたかみのやま温泉観光案内所は、かみのやま温泉駅の前で観光や物産の情報を発信するとともに、交流の場所としても活用されています。

蔵王高原坊平のアスリートヴィレッジでは、国際的なアスリートから一般の人までが、心と体をうるおすことができる場として充実が図られています。

また、市内の公園や河川敷のオープンスペースは、市民の健康づくりや交流の場であるとともに、クアオルトの基本となる「歩きたくなるまちづくり」の重要な要素です。

- ・宿泊施設：温泉町の旅館・ホテル、蔵王高原坊平・蔵王小倉のペンション
- ・スポーツ施設
- ・公園・オープンスペース
- ・フルーツライン
- ・かみのやま温泉観光案内所



観光インフラ（施設）

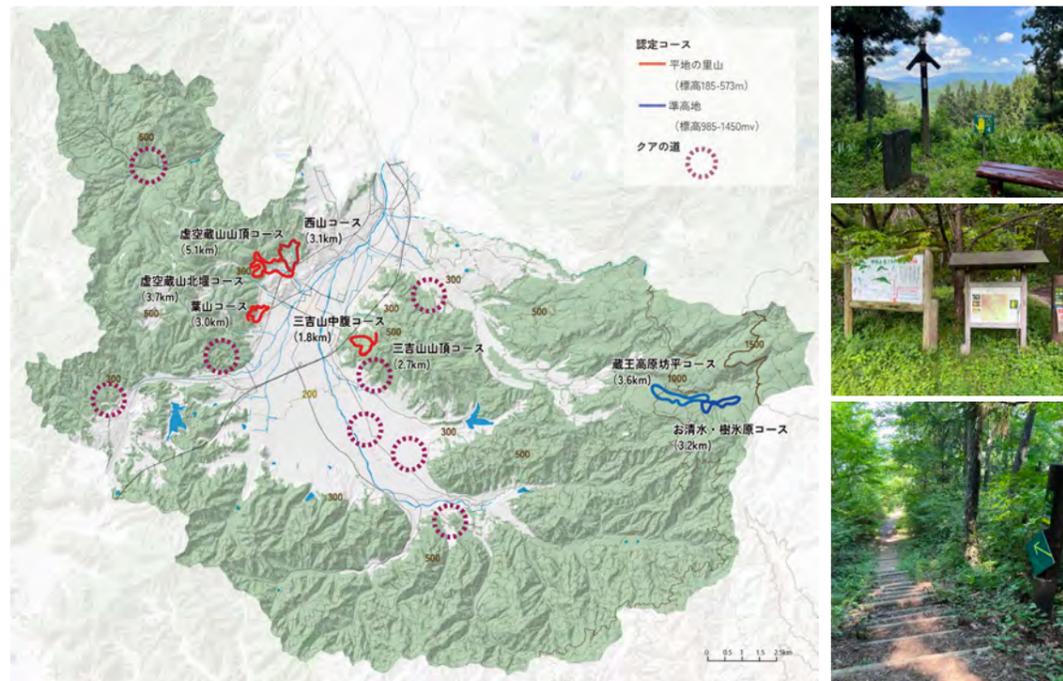
これまでのクアオルトの取組によるストック

健康・交流・環境の3つの柱の下、官民一体となった“心と体がうるおうまち”づくりとして取り組んだ16年間を通じて、地域にソフト・ハードのストックが形成されています。

クアオルト健康ウォーキングのコースと人材

クアオルト健康ウォーキングは、ドイツでは心臓のリハビリや高血圧の治療として実施される運動療法「気候性地形療法」を取り入れながら、医科学的根拠に基づく頑張らないで楽しく運動効果を高めるもので、市内にはドイツ・ミュンヘン大学アンゲラ・シュー教授より鑑定を受けた8つの認定コース、公民館を単位に地域で整備されたクアの道などと18コースが整備されました。また、これらのコースを中心にクアオルト健康ウォーキングを案内する専門のガイド組織であるNPO法人蔵王テラポイント協会も発足し毎日活動しています。

- ・認定コース
- ・クアの道
- ・NPO法人蔵王テラポイント協会



クアオルト健康ウォーキング認定コース・クアの道

ウォーキングの習慣化

ウォーキングは、脳の活性化、フレイル（屋内で動かない生活が続くことで筋肉や関節を動かす機能が衰え、運動機能が低下すること）の予防などを通して健康寿命の延伸に寄与し、また、そこでの交流は心の健康にも良い影響を与えます。

上山市民であれば無料、申し込み不要で参加することができる「毎日ウォーキング」や旅館の主人が案内し誰もが参加できる「早朝ウォーキング」、観光客を対象とした「空色・暮色ウォーキング」といったクアオルト健康ウォーキングのプログラムには、多くの市民をはじめ、旅館の宿泊客、観光客が参加しており、健康習慣のみならず、地域の環境や歴史に興味を持つといった郷土愛を育むきっかけとなっています。また、親子で楽しむ「プチクアオルト」の開催や「上山市クアオルト講座」など、多様な世代がクアオルトに親しむための取組が活用されています。

さらに「かみのやま健康ポイント」では、健康づくりに関する行動（ウォーキングや体操、教室参加等）に対してポイントが獲得でき、貯まったポイントに応じて商品券と交換できる仕掛けもあり、市民の間で楽しみながら歩くことが習慣化しています。

- ・毎日ウォーキング
- ・早朝ウォーキング
- ・空色・暮色ウォーキング
- ・親子で楽しむ「プチクアオルト」
- ・上山市クアオルト講座
- ・かみのやま健康ポイント



ヘルスツーリズムを通じた交流・関係人口の創出

上山市の交流人口の創出に向け、クアオルトを軸としたヘルスツーリズムを推進するための制度の利用やプログラムの開発とともに、クアオルト弁当や旅館のクアオルトかみやま会席をはじめとする、地元の農産物や郷土食の活用などの取組が定着しつつあります。

ヘルスツーリズムとは、旅行体験の中で自身の健康意識を高めたり、健康の増進・維持・回復・疾病予防などに寄与するプログラムやアクティビティを提供する観光です。

クアオルト事業の一環として、平成 27 (2017) 年度より、企業などを対象とした宿泊型新保健指導 (スマート・ライフ・ステイ) ツアーでは、四季折々の地元食材を活かした栄養バランスに富んだ食事の提供、クアオルト健康ウォーキングなど、健康への気づきから予防まで、地域資源を活かした楽しみながら実践できる、「体験型」の保健指導プログラムを提供しています。上山の自然や観光体験に温泉療法・森林療法・気候療法等のメソッドを取り入れたモニターツアーでは、多くの参加者がツアーを通して以前よりも「健康により関心を持った」と答えています。

また、上山市では健康経営に取り組む県内外企業・事業所と協定を結び、森林、温泉、食などの上山の地域資源を活かしたフィールドを、従業員の心と体の健康のための研修や福利厚生の場とし、クアオルト健康ウォーキングをはじめとする、心と体、環境学習に関するプログラムを提供しています。

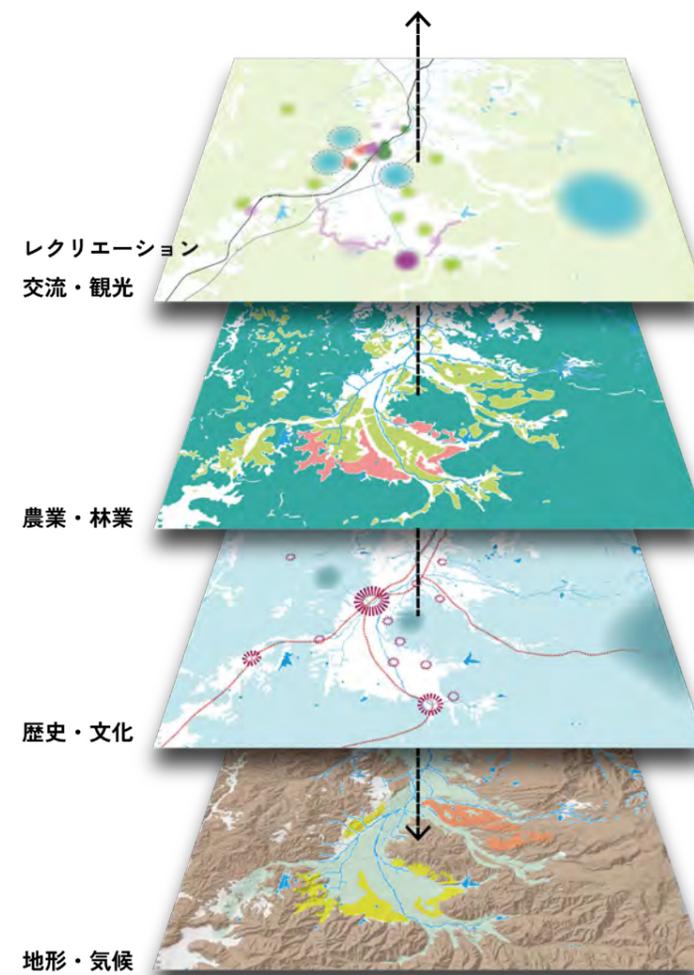
- ・ 宿泊型新保健指導 (スマート・ライフ・ステイ) ツアー
- ・ ヘルスツーリズムの推進
- ・ 県内外企業・事業所との連携
(太陽生命保険株式会社、SOMPO ひまわり生命保険株式会社、東京海上日動火災保険株式会社等との協定)
- ・ クアオルトを基盤とした新たなヘルスケア産業の創出



まとめ：上山のクアオルト構成要素

質の高い保養地としてのクアオルトの根幹をなすのが、「上山固有の地形・気候とこれに適した土地利用により形成された景観」、この環境の下で発展した「城下町・温泉町・宿場町」であり、その中での観光を支えるべく構築されてきた「インフラ」といった地域資源です。この上山に暮らし、これらの地域資源を後世に守り伝える人々、訪れる人を温かく迎え入れる人々の心も、クアオルトを支える要素となっています。

平成 20 (2008) 年度以降のクアオルトの取組により構築された、「クアオルト健康ウォーキングのコースと人材」「ウォーキングの習慣化」「交流・関係人口の創出」といったハード、ソフトの「ストック」は、これらの地域資源に基づいて展開するものであり、市民や訪れる人の QOL (Quality of Life = 生活の質) の向上に大きく貢献しています。



上山のクアオルト構成要素

3



第2期上山型温泉
クアオルトビジョン
の方向性

これまでのクアオルトの取組に対する市民の関心

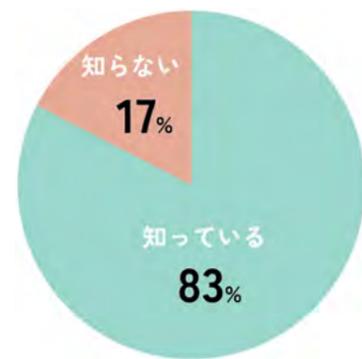
これまでのクアオルトの取組に対する市民と関係者の関心について、第7次上山市振興計画における市民意識調査から、上山型温泉クアオルトの認知度やクアオルトビジョンにおける「健康」・「交流」・「環境」の3つの柱の中で力を入れるべきと考えられている項目と、クアオルトの関係者（市役所の各部局の担当者、観光事業者、ガイド従事者）に対するこれまでの16年間の取組に関するヒアリングとを合わせてまとめました。

クアオルトに対する認知度

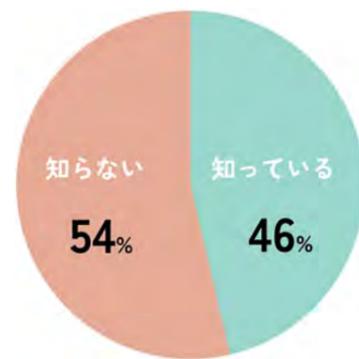
上山市民におけるクアオルトの認知度は8割以上ですが、その中でこの取組がまちづくりであることまで理解している人は半数を切っています。

関係者へのヒアリングでも、クアオルト＝ウォーキングと理解される傾向があるので、観光や交流も含め、まちづくりそのものであるという考え方を浸透させることが必要であるとの意見が出されました。

新たなクアオルトビジョンでは、総合的なまちづくりとしてのクアオルトの意義を明示するとともに、まちづくりとしての方向性をより明確にすることが必要と考えられます。



クアオルトを知っているか
(n=654)



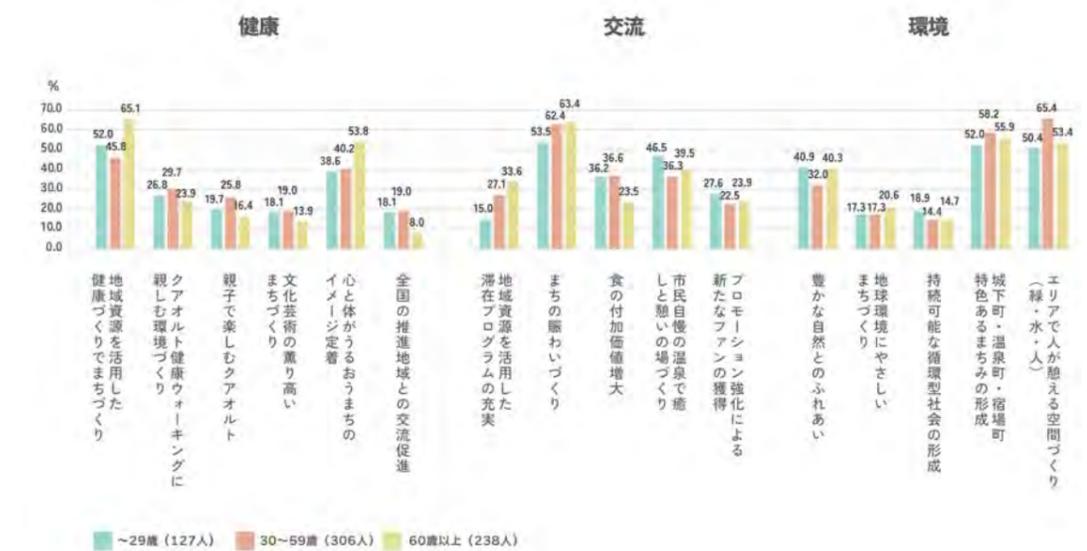
クアオルトが幅広い視点で「まちづくり」を意味することを知っているか
(n=654)

クアオルトへの理解・関心と参加意欲

「健康」・「交流」・「環境」の3つの柱の中で特に推進すべきと考える項目についての市民意識調査結果をみると、「健康」では「地域資源を活かした健康づくりでのまちづくり」と「心と体がうるおうまのイメージの定着」、「交流」では「まちの賑わいづくり」、「環境」では「城下町・温泉町・宿場町 特色あるまち並みの形成」「エリアで人が憩える空間づくり」と、全世代を通して大きな違いはなく、上山市のクアオルトに関して進めてきたものと、市民の関心とが一致していることがわかります。

関係者のヒアリングでは、「地域資源を活かした健康づくりでのまちづくり」に関連して、昔の人が歩いてきた古道の活用や、山岳信仰や修験道など地域ならではの信仰を踏まえた「癒し」の提供や、駅周辺や城下町、公園や川沿いなどのまちなかの身近な資源を利用した気軽なコースと交流の場づくり、子どもたちが地域や自然に興味を持つための体験・気づきの場の提供、上山型温泉クアオルトのヘルスツーリズムとしての特徴づけや発信など、「心と体がうるおうまのイメージの定着」にもつながるアイデアが出されました。

交流と環境が関連する「まちの賑わいづくり」や「エリアで人が憩える空間づくり」については、まちなかの空間や公園を利用したマルシェでワインやビールを飲んだり、野外コンサートが開催されたりといった交流の場のイメージや、歩きや自転車でもちを行き交う人が多いまちづくり、若い世代が中心になって展開するプログラムなど、さまざまな世代の市民、来訪者が参加し、関わりを持つための取組のアイデアが出されました。



「健康」・「交流」・「環境」の3つの柱の中で特に推進すべきと考える項目

クアオルトビジョンの方向性

市民意識調査、クアオルト関係者へのヒアリングから、これまでの16年間の取組の展開を通じ、クアオルトの名前や取組が浸透し、活動にも繋がっていることがわかりました。一方で、総合的なまちづくりとしてのクアオルトの役割については、十分に理解されておらず、健康ウォーキングから、まちづくり、環境、交流に広げていくことが必要であることがわかりました。

したがって、第2期上山型温泉クアオルトビジョンでは、上山型温泉クアオルトの定義・要素を明確にし、まちづくりの方向性として示すことで、クアオルトの基本理念を内外に根付かせていくことが課題となります。さらに、持続可能な取組として定着させるために、次世代をまきこみ、交流・関係人口の拡大につなげることが求められます。

第2期上山型温泉クアオルトビジョンの方向としては、これまでの取組をさらに展開させながら、地域内外のさまざまな立場、年代の人が関わり、個人としてのウェルネスから、ランドスケープとしての環境の保全、交流の活動に視野を広げ、総合的なまちづくりにつなげていけるよう、取組の推進を図ることが必要となります。

総合的なまちづくりとしての上山型温泉クアオルトの理念の浸透

恵まれた気候・地形と景観、その上に形成されたまちの歴史と文化、農産物と豊かな食文化といった地域資源が上山型のクアオルトの根幹にあります。この上山の地域資源を活用しながら、個人としての健康、環境としての健康、まちとしての健康を実現していくものである、といった、総合的なまちづくりとしての上山型温泉クアオルトの理念を共有し、浸透させるための取組を進めます。

世代・ターゲットを踏まえた健康増進プログラムの展開

これまでもクアオルト健康ウォーキングの推進にあたっては、市民が誰でも無料で参加できるプログラムや、親子を対象としたプログラムなどを提供してきました。新たな参加者を増やし、総合的なまちづくりとしての展開に関わる人を増やすためには、多様な世代・ターゲットが実感を持って取り組むことができるよう、それぞれの層の求めるウェルビーイングを意識し、取組を推進していきます。

■ 世代・ターゲットごとのニーズ

- ・子どもと子育て世代の健康づくりの習慣化・さまざまな体験ができる環境

- ・働き世代の生活の中での自然な健康づくり
- ・高齢者の健康づくり・コミュニティ活動
- ・気候・地形を活かした市民の体力作り・トレーニング

にぎわい・交流の場づくりにつながる取組の推進

これまでのクアオルトの取組では、健康経営に取り組む企業と協定を結び、従業員の心と体の健康のために上山の地域資源を活かしたフィールドの提供、市民とアスリートのための環境整備、宿泊型新保健指導（スマート・ライフ・ステイ）ツアーの導入など、ヘルスツーリズムを通じた交流・関係人口の創出につながる取組が展開されてきました。

これを魅力的な文化芸術や、空き家・空き地の活用など、まちなかの魅力再生に向けた展開と連動させることで、ヘルスツーリズムの推進を、まちなかにぎわいに関わる交流・関係人口の拡大につなげていきます。

■ 交流人口の拡大とつながるヘルスツーリズムの形

- ・企業の健康経営（ウェルビーイング、マインドフルネス）
- ・アスリートにとっての気候・地形を活かしたトレーニング
- ・首都圏からの観光客にとっての美しい田園風景と静かな環境で過ごす時間
- ・上山ならではの健康に配慮した食の体験
- ・外国人観光客にとっての日本らしい自然・田園風景、歴史的まち並み

景観・環境づくりにつながる取組の展開

これまでもクアオルトコースの整備などを通じ、市や地域住民により遊歩道や周辺の森林などの環境整備が行われてきました。

クアオルトの取組が、上山の自然豊かな環境と美しい景観の下で展開していることをわかりやすく示すことで、市民や交流・関係人口のなかで共創の輪を広げ、その保全や再生につなげていきます。

■ クアオルトの取組を支える景観・環境の保全・再生

- ・歴史的なまち並み・文化の保全
- ・公園や河川、並木道などの身近な水・緑の景観の保全
- ・上山らしい田園風景の保全
- ・蔵王高原坊平の環境・景観の保全
- ・森づくりと散策環境の整備・保全



参考資料

これまでの上山型温泉クアオルトの取組

平成 20 年度 (2008)

- 7 内閣府「地方の元気再生事業」採択通知
- 8 上山市温泉保養地まちづくり協議会設立
- 9 気候性地形療法コース（西山・葉山・蔵王高原坊平）ミュンヘン大学アンゲラ・シュー教授鑑定
- 10 気候性地形療法プログラムの効果検証（西山・蔵王高原坊平コース）
- 3 気候性地形療法シンポジウム

平成 21 年度 (2009)

- 5 内閣府「地方の元気再生事業」採択通知
- 6 上山市温泉クアオルト協議会総会
早朝ウォーキング葉山開始（地域住民による自主的取組）
クアオルト弁当の開発募集 採択4社（丸内牛肉店、さくら亭、蔵王弁当ほか）
- 9 早朝ウォーキング 西山
（ガイド講座受講生による自主的取組）
気候性地形療法と温泉療法併用による医学的効果検証
気候性地形療法ウォーキングガイド 育成講座開催（認定15名）
気候性地形療法 蔵王上山全国サミット
- 10 気候性地形療法ウォーキングガイド育成講座 ドイツ研修（市民参加13名）

平成 22 年度 (2010)

- 4 早朝ウォーキング定期開催開始
土日ウォーキング実施
- 5 気候性地形療法ウォーキングガイド組織「蔵王テラポイント協会」発足
- 6 シュー教授による実地講習とクアオルト視察事務局2名・長岡医師参加
- 9 気候性地形療法ウォーキングガイド育成講座開催（認定者13名、うち市民9名）

- 10 ドイツ気候療法士研修会（シュー教授の研修）とクアオルト視察（協議会主催 市民7名参加）

平成 23 年度 (2011)

- 4 毎日ウォーキング 開始
- 5 温泉クアオルト研究会設立
第1回研究会・ミニシンポジウム
- 6 早朝ウォーキング クアの道高野コース 開始（地域住民による自主的取組）
- 8 観光庁より「ニューツーリズム育成重点地域」指定
- 9 気候性地形療法ウォーキングガイド育成講座（認定9名、うち市民6名）（共催：めでためでた♪花のやまがた観光圏推進協議会）
- 10 札幌市立大学によるウォーキング心理学術調査 山形パナソニック（株）とのコラボウォーキング 初開催
- 1 第2回温泉クアオルト研究会 in Y U F U
- 3 第4回ヘルスツーリズム大賞受賞

平成 24 年度 (2012)

- 6 気候性地形療法ウォーキングガイド育成講座（認定10名、うち市民8名）（共催：めでためでた♪花のやまがた観光圏推進協議会）
上山市・ドナウエッセンゲン市盟約15周年記念市民友好訪問団でドイツ気候療法士研修会（シュー教授の実地指導）とクアオルトを視察 横戸市長他22名参加
- 9 （株）でん六とのコラボウォーキング初開催
- 10 第3回温泉クアオルト研究会 in 蔵王かみのやま
- 11-12 札幌市立大学・大分大学によるウォーキング心理学的効果検証（まちなかと里山の比較）
- 12 （株）山形銀行とクアオルト構想推進と産業振興に関し「連携・協力に関する協定」締結
- 1-3 東北芸術工科大学 共同企画「かみのやま温泉開湯 555年記念 かみのやま温泉クアオルト健康ウォーキング マイレージシステム花咲かクアオルト てくてく歩（ポ）イント」

平成 25 年度 (2013)

- 5 気候性地形療法ウォーキングガイド育成講座開催（認定12名、うち市民2名）
- 6 かみのやま病院精神デイケア通所者へのクアオルト健康ウォーキングによるQOL調査
- 7 上山型温泉クアオルトシンボルマーク 決定
- 8 「上山型温泉クアオルト構想」策定
- 9-10 クアオルト健康ウォーキング効果検証（血液検査・体力測定）
- 11 まちなか2コース新設、まちなかウォーキング試行実施
横戸長兵衛市長コラボウォーキング 初開催
サンスター（株）「出張・健康道場ツアー」初開催
- 1 第4回温泉クアオルト研究会 in 田辺・熊野
- 2 早稲田大学スポーツ科学学術院による気候性地形療法の効果に関する医学的調査（実験室内）

平成 26 年度 (2014)

- 6 サンスター（株）×かみのやまクアオルトチャレンジ 実施
- 7 クアオルト事業応援自動販売機初設置（公設4基、民設3基）
やまがたワインバル in かみのやま温泉 初開催への協力
気候性地形療法ウォーキングガイド更新制度 新設・実施
- 8 第1回温泉健康施設検討委員会 全8回開催、市へ報告書提出
- 9-11 早朝ウォーキング西山コース開始（日・祝日）
- 10 クアオルト推進月間 新設・実施
（株）みはらしの丘上山発電所コラボウォーキング 初開催
- 11 サントリーフーズ（株）コラボウォーキング 初開催
第3回「健康寿命を伸ばそう！アワード」厚生労働省健康局長 優秀賞受賞
- 1 上山市・天童市・西川町健康温泉地づくり推進協議会 設立
日本クアオルト協議会 設立総会・第1回大会 開催（東京都）、「日本型クアオルト指標（初版）」設定

平成 27 年度 (2015)

- 4 厚生労働省「宿泊型新保健指導試行事業」に東北地方で唯一採択
- 6, 10, 11ヘルスツーリズム上山モデル「彩食健美ツアー」実施
- 7-10 ポストDC企画「湧くわくクアオルトウォーキングキャンペーン」実施（上山市・天童市・西川町健康温泉地づくり推進協議会事業）
- 9 気候性地形療法ウォーキングガイド育成講座（認定16名、うち市民8名）（共催：やまがた広域観光協議会）
第1回ジャパン・ツーリズム・アワード（国内・訪日領域 地域マネジメント部門）部門賞受賞
新日本歩く道紀行100選 西山・蔵王高原坊平・葉山3コース認定
- 第70回日本体力医学会大会（和歌山県和歌山市）「ドイツのクアオルトと国内での健康保養地構想」で上山市の取組を発表
- 10 早稲田大学スポーツ科学学術院による気候性地形療法の効果に関する医学的調査の現地調査（蔵王高原坊平・まちなか）

- 11 やまがた健康づくり大賞 知事表彰（地域団体部門）受賞
- 12 クアオルト PR ポスター 作成
- 1-3「上山型温泉クアオルト事業及びクアオルト事業を基盤としたヘルスケア産業創出に向けた課題と今後の役割」調査事業
- 1 「ヘルスツーリズム品質評価プロジェクト」における実施地域としての協力
- 2 第2回日本クアオルト協議会大会 in ゆふたニタ健康セミナー～タニタ食堂に学ぶ500kcal まんぷく定食のコツ～ 開催（講演会・調理実習）
- 3 検討委員会における市民の意見を踏まえ、温泉健康施設建設候補地を弁天地区内に選定
第7次上山市振興計画策定 将来都市像「また来たくなるまち ずっと居たいまち ～クアオルト かみのやま～」に設定
上山音楽祭「ル・シャトーかみのやま」2016 初開催への協力

平成 28 年度 (2016)

- 7-2 厚生労働省「宿泊型新保健指導事業」本格実施

- 8-2 (一社) 地域活性化センター 公共スポーツ施設等地域活性化助成事業「マイナス7歳のカラダを手に入れる! in 蔵王坊平アスリートヴィレッジ」
- 8 三吉山駐車場整備工事(金生地区) 共用開始
- 9-1「地域と企業が協働するヘルスケア事業の創出」シンポジウム・ワークショップ(東京都・上市市)
- 9 第71回日本体力医学会全国大会(岩手県盛岡市)シンポジウム:気候性地形療法を基本にした「クアオルト健康ウォーキング」の過去・現在・未来
札幌市立大学が「上市市クアオルト健康ウォーキングの心理的効果に関する研究」、早稲田大学スポーツ科学学術院が「皮膚温の2℃低下に着目した生理・生化学的な検討」を発表
- 10 太陽生命保険(株)と「上山型温泉クアオルト(健康保養地)活用包括的連携に関する協定」締結
- 11 第3回日本クアオルト協議会大会 in おおだ
- 12 山形県立保健医療大学保健医療学部が、毎日ウォーキング参加者の3年間の血圧値の変動を分析、継続参加者へのアンケート調査から、参加によって及ぼされた効果を検証
- 2.「ヘルスツーリズム品質評価実証事業」における実施地域としての協力
“クアオルト上山”未来会議～次世代につなぐ、新たな“クアオルト上山”の未来とまちづくり
- 3 温泉健康施設基本設計完了
スマート・ライフ・プロジェクト女性の健康週間イベント

平成29年度(2017)

- 4, 11 仙台大学体育学部と連携したクアオルト体力測定会の実施、市民等における継続的な運動を実施することによる効果検証
- 5 市役所地下食堂で「クアオルトランチ」(月1回)開始
- 6 ユトリアグループとのコラボウォーキング初開催
損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険(株)と「上山型温泉クアオルト(健康保養地)活用包括的連携に関する協定」締結
- 7 シュー教授による「ドイツ気候療法士研修とクナイプ式・温泉クアオルト視察研修」市民5名参加

- 8 上市市医師会と連携したクアオルト健康ウォーキングの効果に関する研究
- 9 温泉健康施設温泉掘削工事 契約締結
- 10 第4回日本クアオルト協議会大会 in 妙高
- 12 “山形・かみのやま温泉”クアオルトスタイル～自転車×音楽×ワインで心と体がうるおう上質な時間～シマノ・ライフクリエーションスペースOVE南青山(東京都)
- 1 (株)山形銀行と「連携・協力に関する変更協定」の締結
- 2 東京海上日動火災保険(株)と「上山型温泉クアオルト(健康保養地)活用包括的連携に関する協定」の締結
- 3 上山型温泉クアオルト事業10周年記念“クアオルトかみのやま”未来シンポジウム
大阪大学大学院と連携した10年間の取組から見えてきた医療費の影響について初分析

平成30年度(2018)

- 4 大塚製薬(株)と「健康づくりの増進に関する包括的連携協定」を締結
- 8 庁内組織「上山型温泉クアオルト構想リーディングプロジェクト推進会議」設置
クアオルト・セラポイント養成講座開催(認定7名)
第59回日本人間ドック学会学術大会 事例発表、総合討論
- 10 第1期ヘルスツーリズム認証取得(観光物産協会・丹野こんにやく・時代屋・有馬館)
第5回日本クアオルト協議会大会 in 珠洲
- 12 「東北プロモーション in 台湾」「日本東北遊楽日2018 だいすきとうほく」参加
第2期ヘルスツーリズム認証取得(月岡ホテル)

- 1 NPO法人蔵王セラポイント協会 設立
- 2 “クアオルトかみのやま”未来シンポジウム:ヘルスツーリズム認証制度の浸透と今後の展開 開催
- 3 “クアオルトかみのやま”健康経営セミナー開催

令和元年度(2019)

- 4 NPO法人蔵王セラポイント協会に毎日ウォーキング等の業務を初委託

- 毎日ウォーキング市民参加料を無料化
- 8 第6回日本クアオルト協議会大会 in 三種
クアオルト・セラポイント養成講座(認定3名)
- 9 Taiwan Outdoor Show 2019 参加
温泉健康施設・周辺土地利用基本構想(クアパーク)策定
- 10 (公財)日本さくらの会「宝くじ桜寄贈事業」採択
- 12 「第6回ディスカバー農村漁村(むら)の宝」(農林水産省・内閣官房主催)準グランプリ受賞
- 3 毎年関連予算の議決を得ながら進めてきた、温泉健康施設事業に係る必要議案が市議会臨時会で否決。その後、計画の変更や縮小は、事業目的や目指す成果の達成が困難になることから、中止を決定

令和2年度(2020)

- 新型コロナウイルス感染拡大により、市民の健康増進、交流人口拡大の各種取組に大きな影響
- 4 市内企業・事業所ウォーキング体験料を無料化(上山ゆうがく出前講座)
- 7 「森林サービス産業」モデル地域等(健康経営分野)創出支援事業 採択通知
蔵王高原坊平エリアにおいて、企業等の健康経営支援による誘客促進事業 開始
- 10 ICT(活動量計)を活用した新たな健康施策「かみのやま健康ポイント事業」開始
- 2 ミュンヘン大学シュー教授鑑定に向けたコース調査(西山周辺・蔵王高原坊平周辺)
森林の中でのモニターツアー体験前後で心理的な状態を見るエビデンス調査 初検証(かみのやま病院・Yume Cloud Japan)
- 3 上山型温泉クアオルト構想改訂版 策定

令和3年度(2021)

- 8 県内6社と“クアオルトかみのやま”健康経営相互応援協定 第一弾締結((株)でん六・(株)ヤマコー・(株)山形パナソニック・進和ラベル印刷(株)・羽陽建設(株)・(株)ミツワ企業)
“ル・シャトーかみのやま”ミュージックキャンプ2021 初開催への協力
- 11 クアオルト・セラポイント養成講座 開催(認定14名)

- 12 “クアオルトかみのやま”健康経営×SDGs オンラインセミナー 開催
- 1 小学3・4年生対象社会科副読本「上市市のはってんのために」に、まちづくりの視点でクアオルト事業が掲載
- 2 ふるさとづくり大賞(総務省主催)地方自治体表彰受賞
- 3 上市市役所が東北自治体として「健康経営優良法人2022(大規模法人部門)」初取得

令和4年度(2022)

- 4 アクサ生命保険(株)と“クアオルトかみのやま”事業推進連携協定 初締結
- 5 県内外4社と“クアオルトかみのやま”健康経営相互応援協定 第二弾締結(サントリー・ビバレッジソリューション(株)・(株)置環・(株)丹野こんにやく・(株)ウンノハウス)
- 6 2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を宣言
スキージャンプ・葛西紀明選手「上市市公認蔵王坊平アドバイザー」就任
- 9 上山型温泉クアオルト事業15周年記念“クアオルトかみのやま”未来シンポジウム
第7回日本クアオルト協議会大会 in 多可
- 10 クアオルト・セラポイント養成講座 開催(認定4名)
- 2 “クアオルトかみのやま”健康経営×SDGs セミナー 開催

令和5年度(2023)

- 5 “ル・シャトーかみのやま”2023ガラ・コンサート in やまぎん県民ホール開催への協力
- 8 県内3社と“クアオルトかみのやま”健康経営相互応援協定 第三弾締結((株)エム・エス・アイ・(社医)みゆき会・(社医)二本松会かみのやま病院)
- 11 クアオルト・セラポイント養成講座 開催(認定4名)
- 2 “クアオルトかみのやま”健康経営×SDGs セミナー 開催
- 3 “クアオルトかみのやま”企業交流会 初開催
第2期上山型温泉クアオルトビジョン策定

ドイツのクアオルト

ドイツでは、「療養地」「健康保養地」を意味するクアオルトは、国内の医療制度によって認定された、その場所での滞在や治療に医療保険が適用される地域を指します。

ドイツ・クアオルトでは、その街の天然資源と自然環境を用いた治療が設置されており、主に天然泉を利用した温浴施設、豊かな自然と気候を利用した気候療法やトレッキングなどのアクティビティなどが盛んです。そのような治療に用いられる自然の確保のための環境保全と品質チェックがなされ、さらにはそのような人が集まる場としての観光・芸術の要素も加わります。

クアオルトはそのように、景観・環境・観光・産業などが交差し連携するまちづくり全体のことであり、そこを訪れる人にも、住む人にも、心身双方の健康に寄与するまちづくりを目指すものでもあります。

認定条件

ドイツには様々な種類のクアオルトがありますが、ドイツ温泉療養協会（DHV - Deutscher Heilbäderverband）による認定条件に共通している項目としては、以下の項目が挙げられます。

- 医療機関が設置されていること
- 医学的に実証されているクアオルト的な治療メソッドのプログラムがあること
- 土地固有の天然資源による治療要素があり、天然資源の品質が保たれていること
- 空気汚染の指数が一定以上でないこと。そのための定期的検査と対策等が行われていること
- 環境保護、景観の保全
- クアパーク（クアオルトの中心となる森林公園）の設置

主なクアオルト

ドイツ・クアオルトに認定されている街には、古代より温泉地として栄えた街など、その街固有の特別な歴史がある街、山岳リゾート地として発展した街があります。クアオルトの代表的な都市のひとつであるバーデン・バーデンは、古代ローマ時代に温泉町として街が築かれて以来、様々な歴史を経て現代のクアオルトへと繋がっています。

このバーデン・バーデン、バート・エムス、バートキッシンゲンといった街は、クアオルトとして認定された街であると同時に「ヨーロッパの大温泉保養都市群（Great Spa Towns of Europe）」として2021年にユネスコの世界遺産に登録された街でもあります。

登録基準として、温泉・医療とそのような観光・芸術・娯楽・景観が融合したリゾート地の伝統と歴史的原型を保つ街として評価されました。

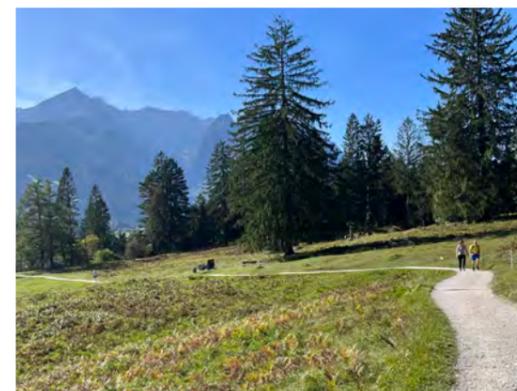
また、気候的なリゾート地に認定されているガーミッシュ・パーテンキルヒェンなどは、気候性地形療法のコースが整備されています。



バート・キッシンゲン
(<https://www.badkissingen.de/>)



バーデン・バーデン：フリードリヒスパート浴場
(<https://www.baden-baden.com/en/media/attractions/friedrichsbad-spa#/article/a8387d78-4710-4986-b761-054e6694bf17>)



ガーミッシュ・パーテンキルヒェン 気候性地形療法のコース



クアハウス（バート・ヴェリスホーフェン）



バート・ヴェリスホーフェンのクナイブの森の道

日本クアオルト協議会と 日本型クアオルト指標

日本クアオルト協議会

日本クアオルト協議会は、ドイツのクアオルトの考え方を基本に、地域資源や温泉などを活用しながら、日本の風土に合った滞在型の健康保養地づくりを推進するため、大分県由布市、和歌山県田辺市（平成30（2018）年度末で退会）、山形県上山市の3市が中心となり、平成23（2011）年度に温泉クアオルト研究会を設置し活動してきました。

平成26（2014）年度、滞在型の健康保養地づくりに賛同する石川県珠洲市、新潟県妙高市が加わり「日本クアオルト協議会」へ名称を変更。現在は8自治体で構成されています。

温泉や食、自然環境、伝統文化などの地域資源を「健康」を中軸として連携して活用し、地域住民や来訪者の健康増進を図ることができる、質の高い滞在環境である「日本型クアオルト（健康保養地）」を確立し、日本の新しい地域活性化のモデルケースづくりのあり方を研究し、その取組を進めています。

「日本型クアオルト指標」

「日本型クアオルト指標」は、質の高い滞在型の健康保養地を目指す自治体に向けて設定した、健康、医療、環境、景観、観光・産業、計画・連携の6領域60項目の指標です。

加盟自治体はそれぞれの取組を自己分析した上で、お互いに学び合いながら質の高い滞在型の健康保養地を目指しています。

1 健康

- 1) 地域の自然環境や自然資源を活用した健康増進プログラム（ドイツのクアオルトにおける4つの療養要因を基礎としながら、当面野山を活用したウォーキングである地形療法や気候の効果を加味した気候性地形療法、温泉・鉱泉・海水・水を活用した水中運動プログラムを言う。以下、「自然環境活用型健康増進プログラム」と言う。）の中で、月1回以上実施しているものがある。
- 2) 自然環境活用型健康増進プログラムの中で、月4回以上実施しているものがある。
- 3) 自然環境活用型健康増進プログラムの中で、月8回以上実施しているものがある。
- 4) 自然環境活用型健康増進プログラムの中で、月24日以上実施しているものがある。
- 5) 自然環境活用型健康増進プログラムは、医療・健康づくりの専門家の指導を得ている。

- 6) 自然環境活用型健康増進プログラムは、専門家または専門家から指導を得た人が対応している。
- 7) 自然環境活用型健康増進プログラムを実施する団体に、保健師、管理栄養士または健康運動指導士がいる。
- 8) 自然環境活用型健康増進プログラムを実施する団体に、ドイツのクアオルトの知識がある人材がおり、クアオルトの知識を実施団体の中で共有している。
- 9) 自然環境活用型健康増進プログラムと連動した、食による健康増進に取り組んでいる。
- 10) 心身の緩和を促進するプログラム（自律訓練、ヨガ等）を実施している。

2 医療

- 1) 自然環境活用型健康増進プログラムの医科学研究に取り組んでいる。
- 2) 自然環境活用型健康増進プログラムのエビデンスがある。
- 3) 自然環境活用型健康増進プログラムに関して、地元の医師と連携している。
- 4) 自然環境活用型健康増進プログラムに関して、地元の医師会と連携している。
- 5) 自然環境活用型健康増進プログラムや健康づくりに関して、地元の医師会など医療機関と連携・協議する場がある。
- 6) 歯科医師または歯科医師会と連携し指導を得ている。
- 7) 国民健康保険者や健康保険組合、協会けんぽ等と連携し、自然環境活用型健康増進プログラムを提供している。
- 8) 自然環境活用型健康増進プログラムを、特定保健指導で活用している。
- 9) 自然環境活用型健康増進プログラムを、介護予防で活用している。
- 10) 医療機関が、自然環境活用型健康増進プログラムを活用している。

3 環境

- 1) 自然環境活用型健康増進プログラムの根拠になる要因はもちろん、まちの土地利用に配慮し、周辺の自然環境が破壊されたりしないよう極力注意を払っている。
- 2) 環境破壊につながる恐れのある過度の開発を抑制するための対策を講じている。
- 3) 自然環境活用型健康増進プログラムを提供する保養地域では、通過交通を避けるなど環境に配慮した良好な交通計画や交通の制限をしている。
- 4) 環境負荷の少ない公共交通手段を推奨する取組をしている。
- 5) 環境負荷の少ないエネルギーの利活用を図っている。
- 6) 騒音防止対策を講じている。
- 7) 水質と水域の保全のための具体的な取組をしている。
- 8) 自然資源（山岳・森林・温泉・海等）の保全に対する具体的な対策を講じている。
- 9) 動植物の保護・管理など、自然生態系の保護のための具体的な取組をしている。
- 10) 自然資源を活かした遊歩道等が整備されている。

4 景観

- 1) 樹木や花々を多くして、健康保養地に適した心が穏やかで、潤いのある落ち着いたような景観づくりを推進している。
- 2) 自然環境や景観に配慮し、健康保養地に適したまちなみや建築物等の外観の建築規制や景観ガイドラインなど、一定の規制や基準を独自に設けている。
- 3) 静養ゾーン、団らんゾーン、催し物が行われる楽しみゾーンなどの人を引き寄せる保養公園（クアパーク）がある。
- 4) 視覚を極端に刺激し興奮させるネオン等を避けるための規制や条例がある。

- 5) 過度な色彩を避け、自然景観や環境に適した色彩を基調とするための取組や計画、規制がある。
- 6) サインを統一したり、大きさや枚数、色彩を制限するなど、屋外広告物が景観を阻害しないような規制や条例を設けている。
- 7) 自然環境を案内する看板や表示は、自然に溶け込むもので統一して設置している。
- 8) 公園や街路樹においては、地域の自然環境に合った樹木や山野草を使用している。
- 9) 景観に配慮して公共地（駐車場、公園等）の緑化等に積極的に取り組んでいる。
- 10) 眺望の確保や展望地の整備を行っている。

5 観光・産業

- 1) 健康を中心とした滞在型健康保養地としての観光地づくりに取り組んでいる。
- 2) 地域内の歴史や文化と結びついた自然環境活用型健康増進プログラムの情報を発信している。
- 3) 地域内の歴史や文化と結びついた自然環境活用型健康増進プログラムを商品としている。
- 4) 地域内の自然を活かした滞在型のプログラムを開発している。
- 5) 地域内の産業が連携し、滞在型の健康保養地として、体験プログラムや食、物産の創出に取り組んでいる。
- 6) 地域内の情報を一元的に提供する仕組みや場所を設置している。
- 7) 地場産業や農業など異業種と連携した観光の推進に取り組んでいる。
- 8) 音楽、映画、美術、郷土芸能などの地域の芸術文化を活かし、居住環境や滞在環境の質を高める観光地づくりに取り組んでいる。
- 9) 心身が健康になる滞在型健康保養地に適する農産物など、健康を志向する食材や食品の提供に取り組んでいる。
- 10) 心身が健康になる滞在型健康保養地として、内外の交流の推進を図っている。

6 計画・連携

- 1) 健康を中核としたまちづくりが、自治体の長期計画に位置づけられている。
- 2) 日本型クアオルトを目指した将来像や事業が、自治体の長期計画に明確に位置づけられている。
- 3) 日本型クアオルトを目指した事業が、自治体の各種計画に位置づけられている。
- 4) 日本型クアオルトを目指した将来像を掲げた計画を策定している。
- 5) 産官学医が連携して日本型クアオルトを目指したまちづくりに取り組む組織がある。
- 6) 大学や研究者、医療機関や医師と連携して、健康づくり事業の計画策定や推進に取り組んでいる。
- 7) 行政組織に、総務、産業、福祉健康、環境等の各部門が連携して、クアオルトに取り組む組織や仕組みがある。
- 8) 日本型クアオルトづくり事業を推進するための担当部署が行政組織にある。
- 9) 日本型クアオルトづくりを推進している先進的な自治体や専門家、団体等と連携し、ノウハウを共有し取り組んでいる。
- 10) 住民や各種団体等と行政が協働で日本型クアオルトを目指した諸事業に取り組んでいる。

第2期上山型温泉クアオルトビジョン

発行日 令和6（2024）年3月

編集 山形県上市市政戦略課クアオルト推進係

〒999-3192 山形県上市市河崎一丁目1番10号

TEL：023-672-1111 FAX：023-672-1112

URL：https://www.city.kaminoyama.yamagata.jp/site/kurort/

